

令和5年度上富良野町子どもの生活実態調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「上富良野町こども計画」策定のための基礎資料として、子育て家庭の生活実態や経済状況を把握し、より効果的な子育て支援策を検討することを目的として実施しました。

(2) 調査結果

調査の実施方法および結果については、以下のとおりとなっています。

○調査対象：・上富良野町在住の小学校5年生、中学校2年生、高校2年生と3年生の保護者
・上富良野町在住の小学校5年生、中学校2年生、高校2年生と3年生の子ども

○調査期間：令和5年8月25日～9月8日

○調査方法：小学生・中学生及びその保護者：学校を通じ配布・回収

高校生及びその保護者：郵送により配布・回収

・保護者及び子どもが記載した調査票は、記入後、それぞれの回収用封筒に入れ、封を閉じて、学校に提出

○配布・回収状況

調査対象		配付件数 (件)	有効回答数 (件)	有効回答率 (%)	マッチング数 (件)	マッチング率※ (率)
小学5年生	子ども	85	59	69.4%	59	100.0
	保護者	85	60	70.6%		
中学2年生	子ども	83	53	63.9%	53	100.0
	保護者	83	53	63.9%		
高校2・3年生	子ども	172	38	22.1%	38	100.0
	保護者	172	39	22.7%		

※「マッチング数」とは、「保護者の調査票」と「子どもの調査票」について、同一世帯の情報として集計が可能となった数をいい、「マッチング率」とは、子どもの有効回答数を母数として、マッチング数を除した割合をいいます。

(3) 調査結果の概要

1. 調査世帯の状況

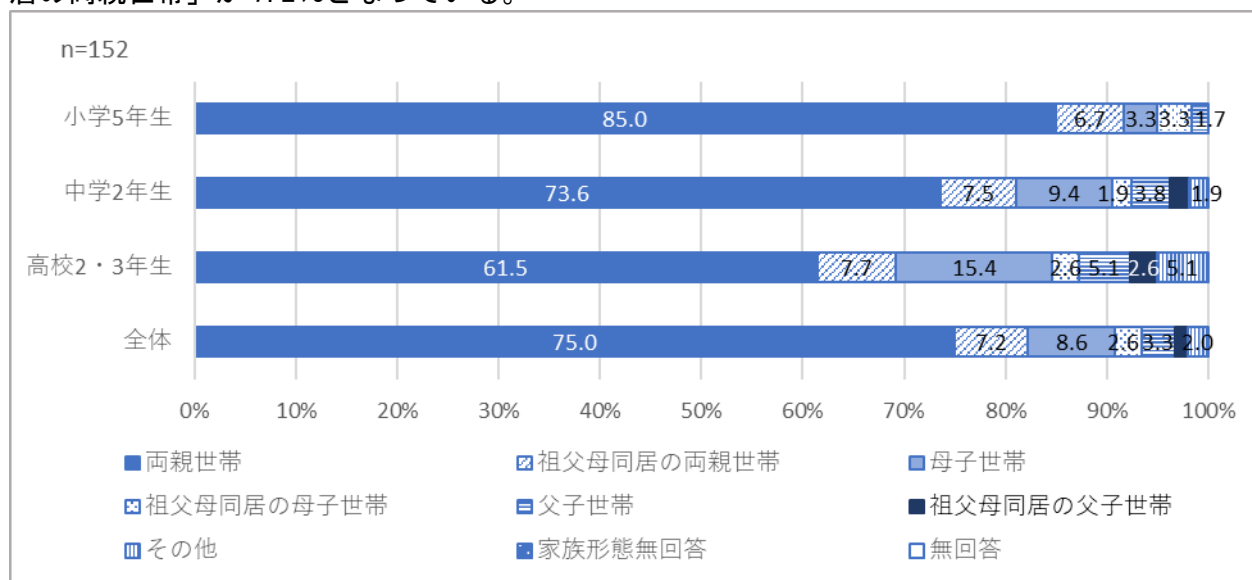
(1) 世帯の状況

◆ お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんを含めて教えてください。

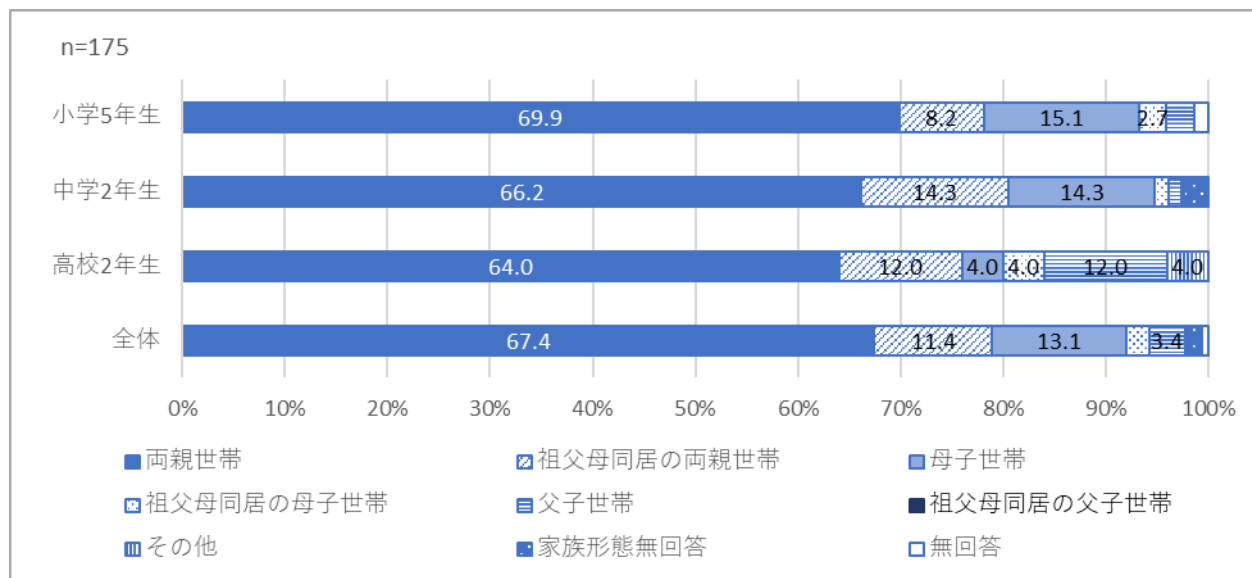
※以下、「家族」はすべて「同居・別居にかかわらず生計が同じ家族」をさします。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

現在の家族形態は、「両親世帯」が75.0%で最も多く、続いて「母子世帯」が8.6%、「祖父母同居の両親世帯」が7.2%となっている。



【前回調査 (H29)】

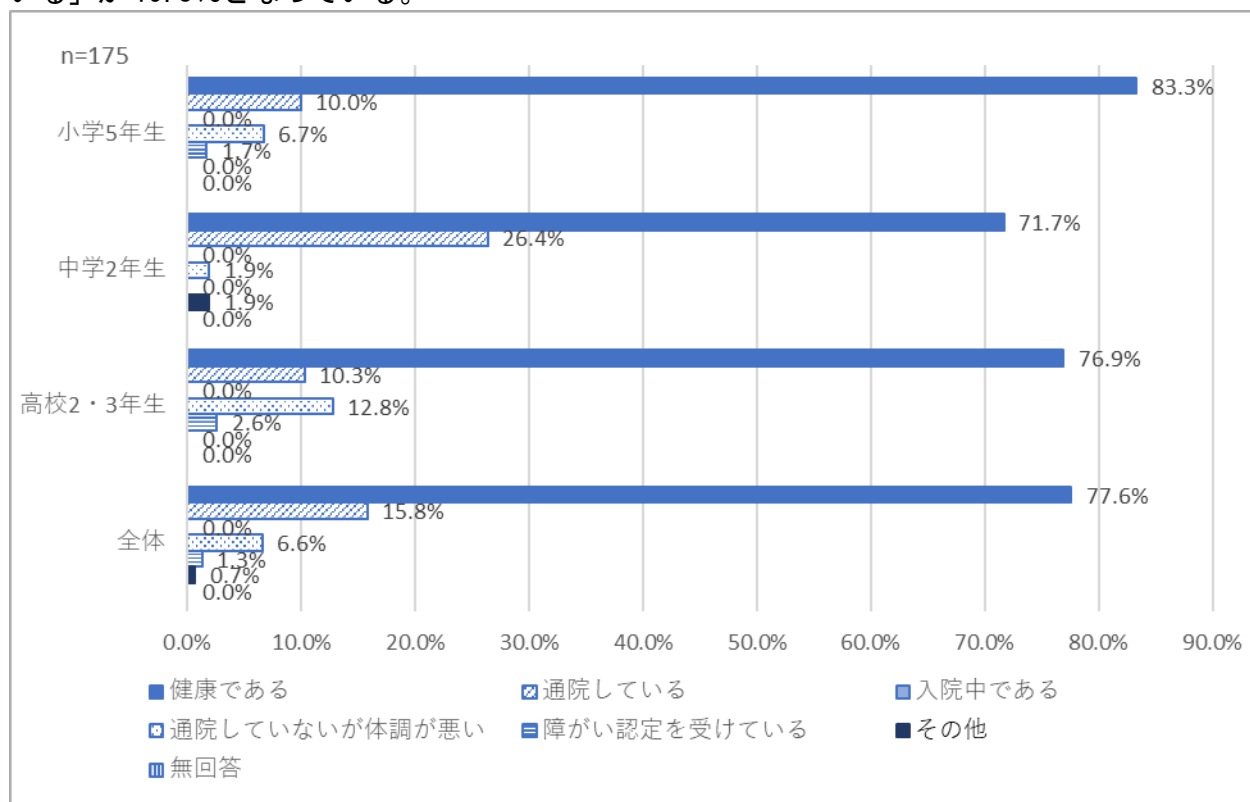


(2) 回答者の健康状態等

◆ あなたの健康状態等はいかがですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

回答者の健康状態等は、「健康である」と回答した割合は77.6%と最も多く、続いて「通院している」が15.8%となっている。



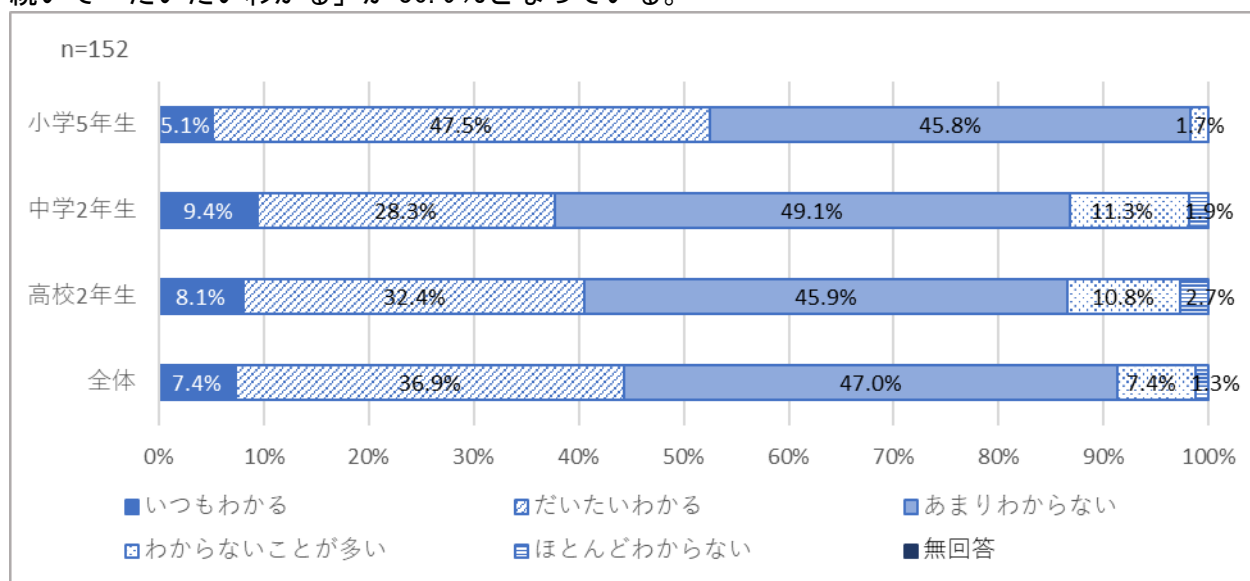
2. 子どもの教育について

(1) 学校の授業がわからないことがあるか

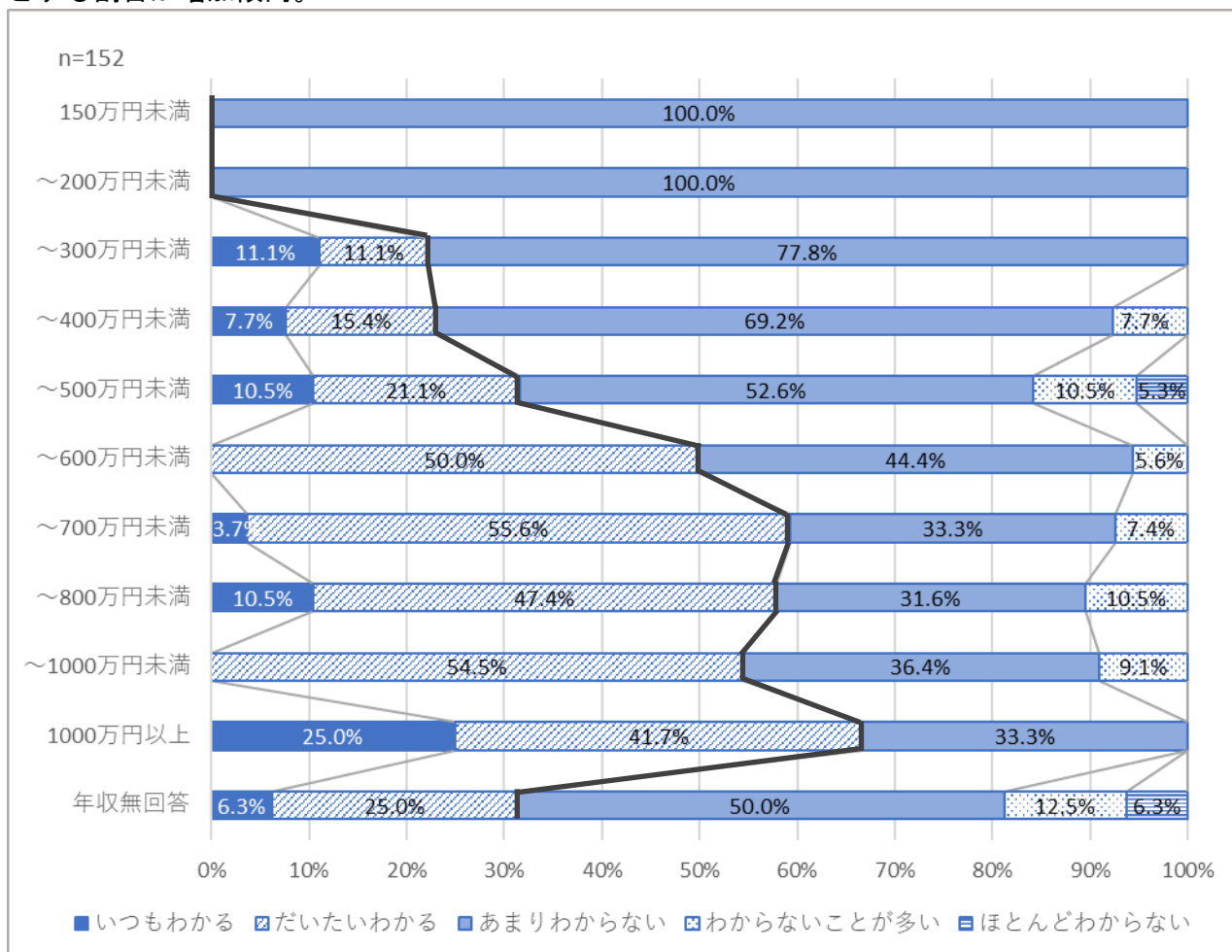
◆ あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

(小5 中2 高2 小5保護者 中2保護者 高2保護者)

学校の授業がわからないことは、「教科によってはわからないことがある」が47.0%で最も多く、続いて「だいたいわかる」が36.9%となっている。



年収階層別にみると、年収が下がるのに伴い「あまりわからない」から「ほとんどわからない」とする割合が増加傾向。

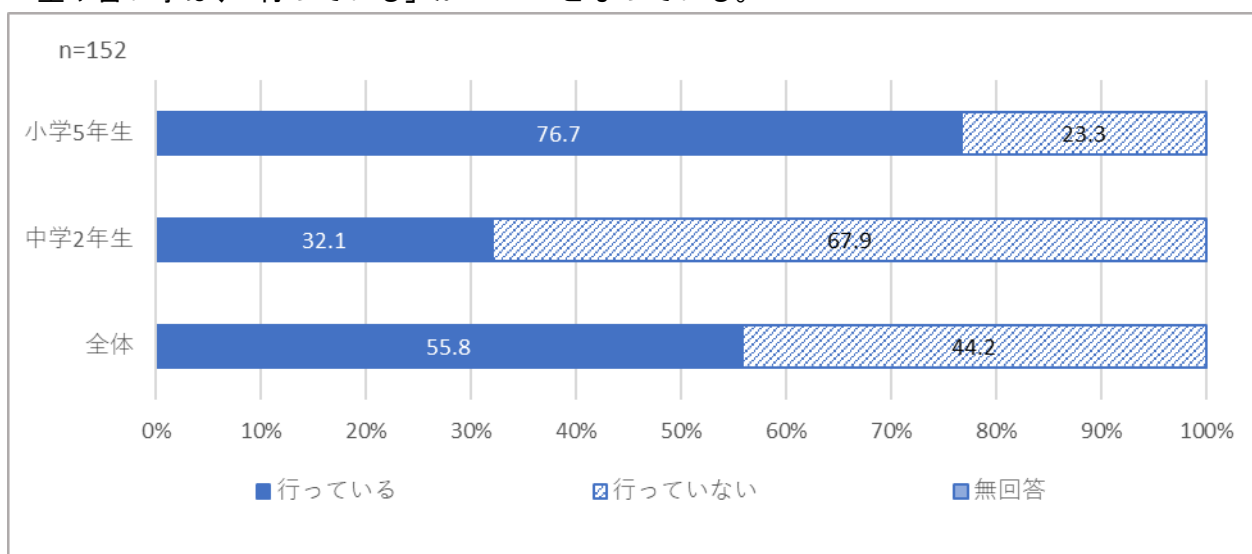


(2) 塾や習い事に行っているか

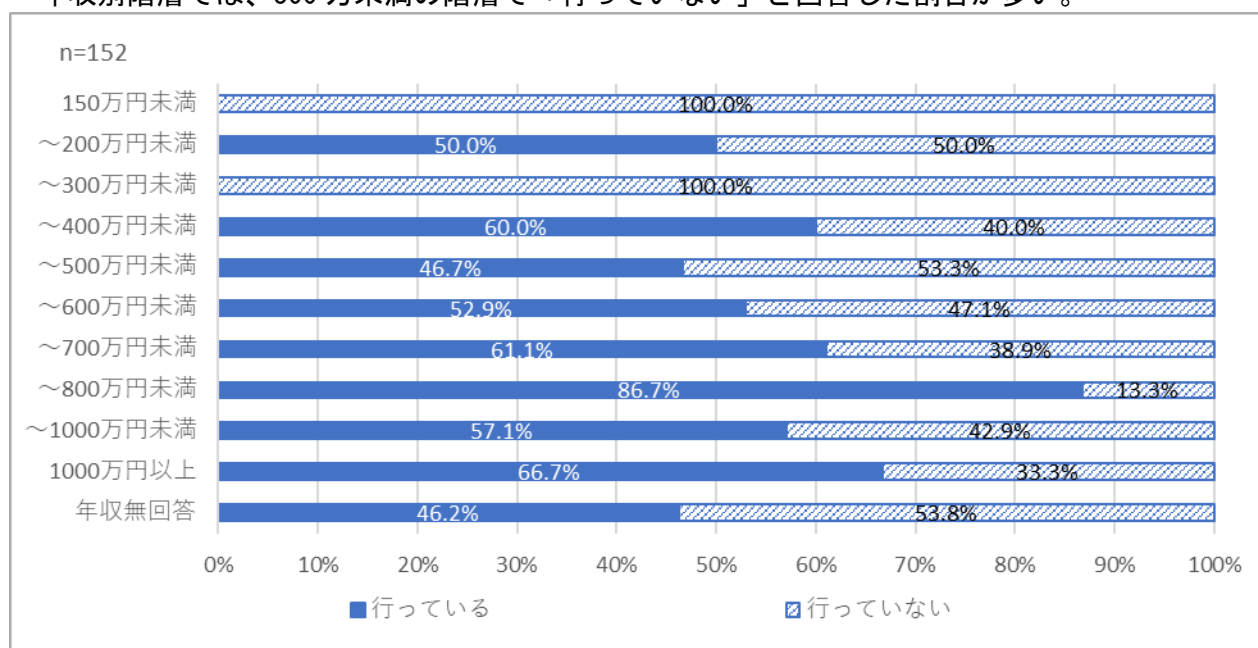
◆ お子さんは塾や習い事に行っていますか。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

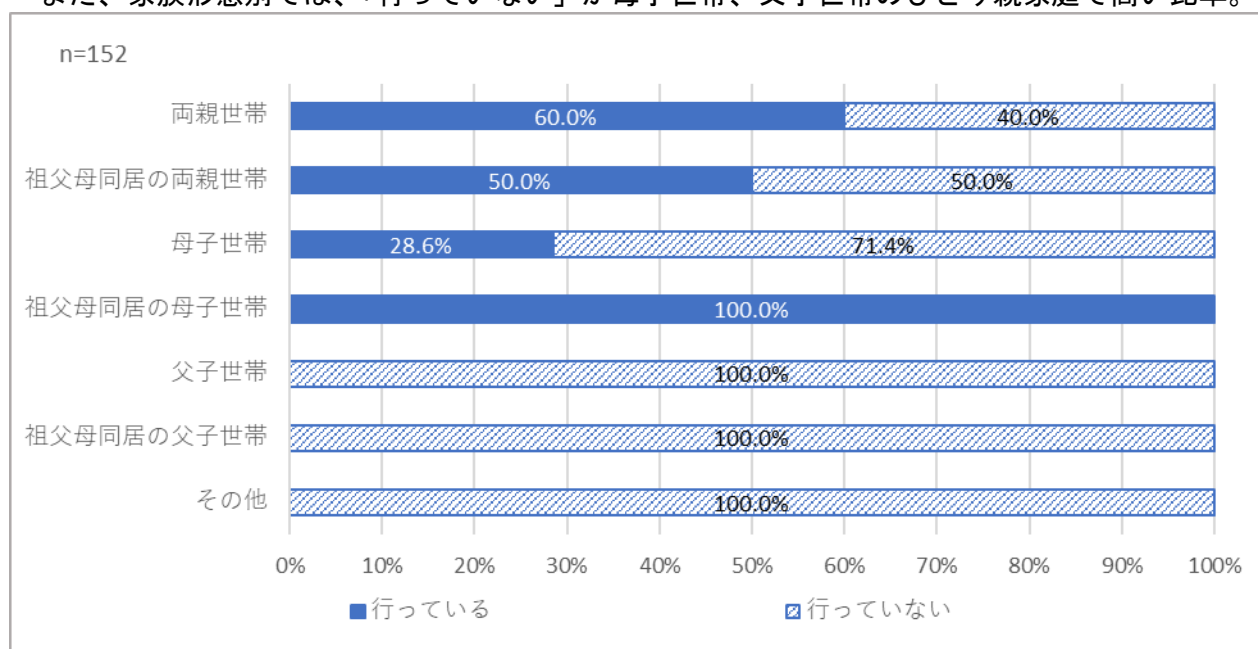
塾や習い事は、「行っている」が55.8%となっている。



年収別階層では、300 万未満の階層で「行っていない」と回答した割合が多い。



また、家族形態別では、「行っていない」が母子世帯、父子世帯のひとり親家庭で高い比率。



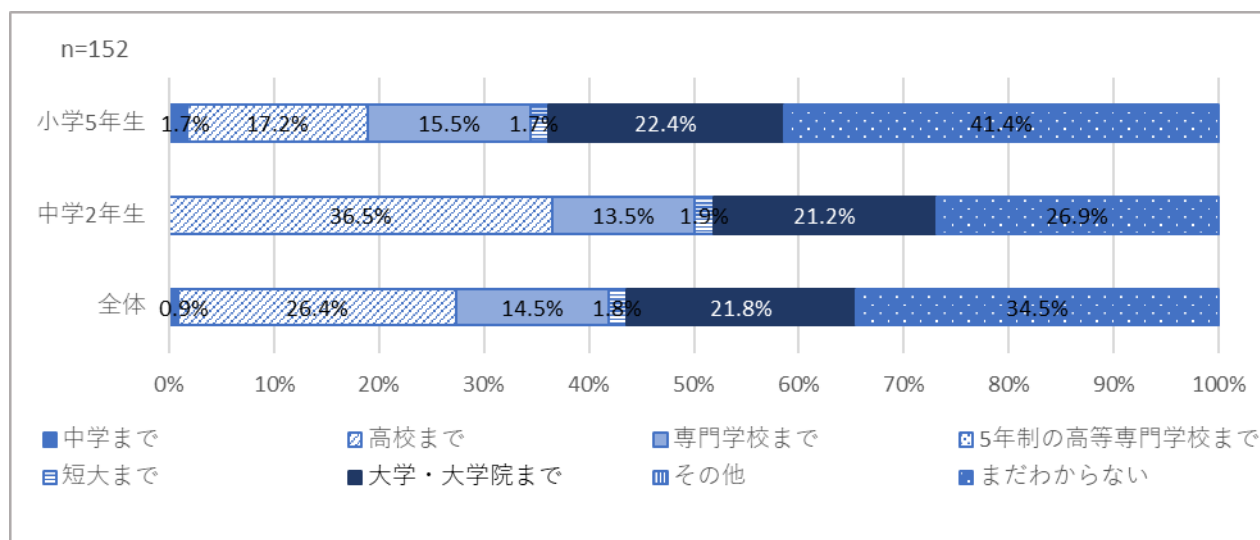
(3) 将来どの段階まで進学したいか、その理由

◆ あなたは将来、どこまで進学したいですか。進学したい先とその理由を教えてください。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

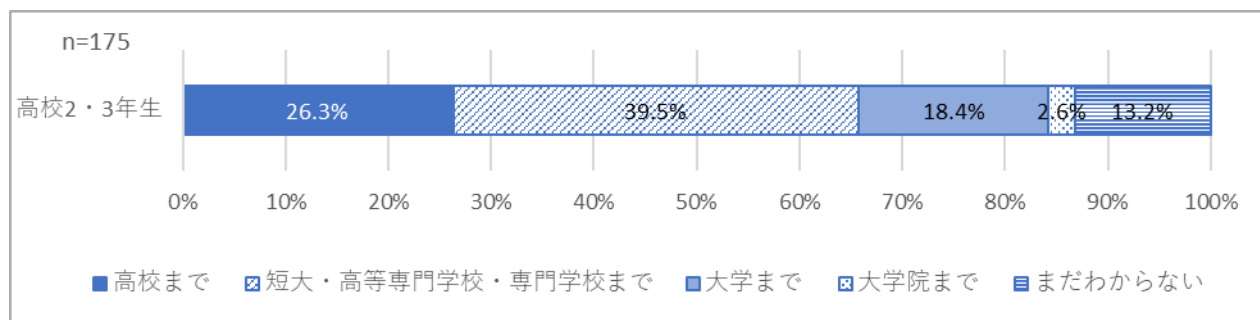
① 小学5年生・中学2年生

将来どこまで進学したいかは、小5と中2では「まだわからない」が34.5%で最も多く、続いて「高校まで」が26.4%、「大学・大学院まで」が21.8%などとなっている。



② 高校2年生・3年生

高校2年生・3年生では、「短大・高等専門学校・専門学校まで」が39.5%で最も多く、続いて「高校まで」が26.3%となっている。



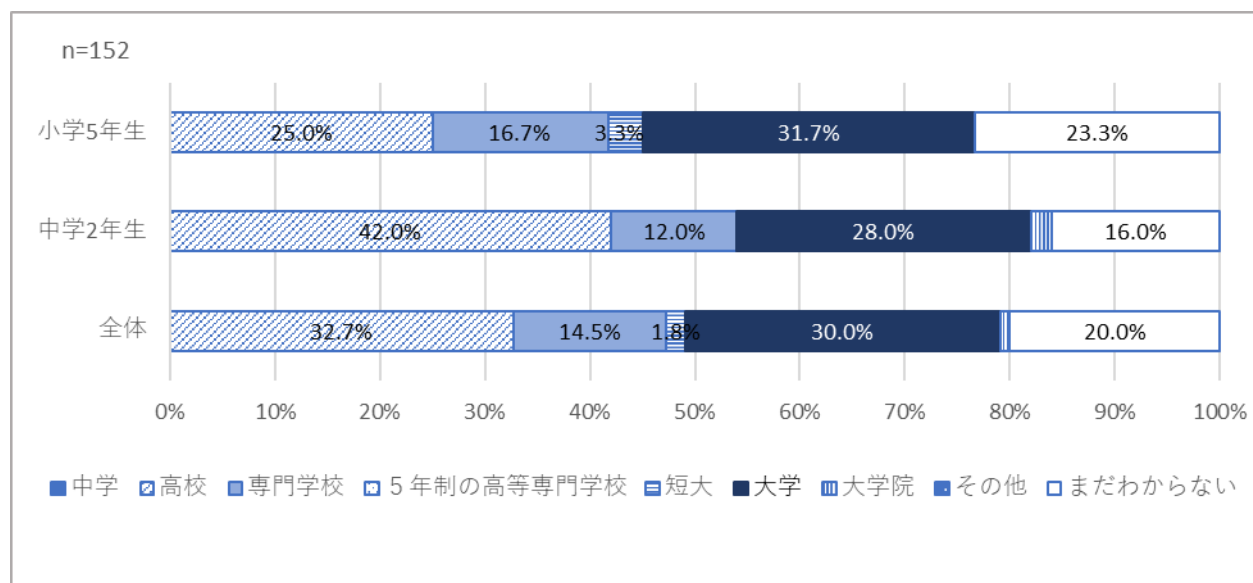
(4) 子どもにどこまでの教育を受けさせたいか

①小学5年生・中学2年生

◆ お子さんは将来、現実的に見てどの学校まで進学すると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

小学5年生・中学2年生の保護者に、現実的に見て、子どもがどの学校まで進学すると思うかたずねたところ、「高校」が32.7%で最も多く、続いて「大学」が30.0%となっている。

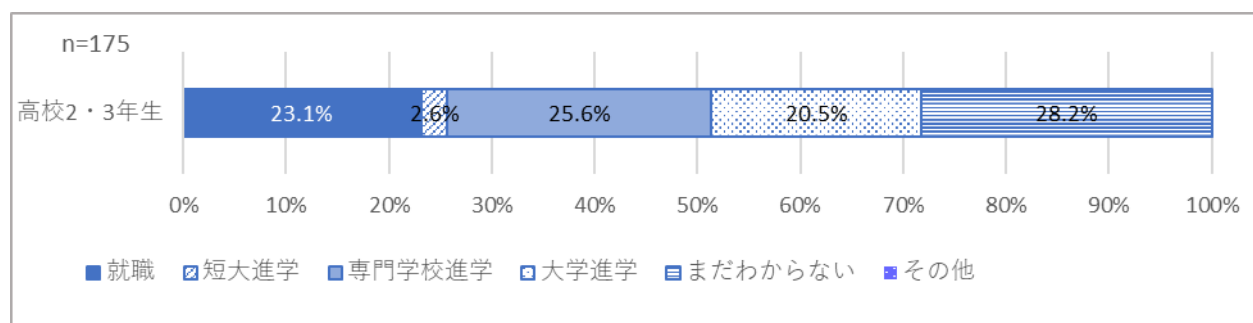


②高校2年生・3年生

◆ お子さんの高校卒業後の進路についてはどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

高校2年生・3年生の保護者に、子どもの高校卒業後の進路についてたずねたところ、「まだわからない」が28.8%で最も多く、続いて「専門学校進学」が25.6%、「就職」が23.1%、「大学進学」が20.5%の順になっている。



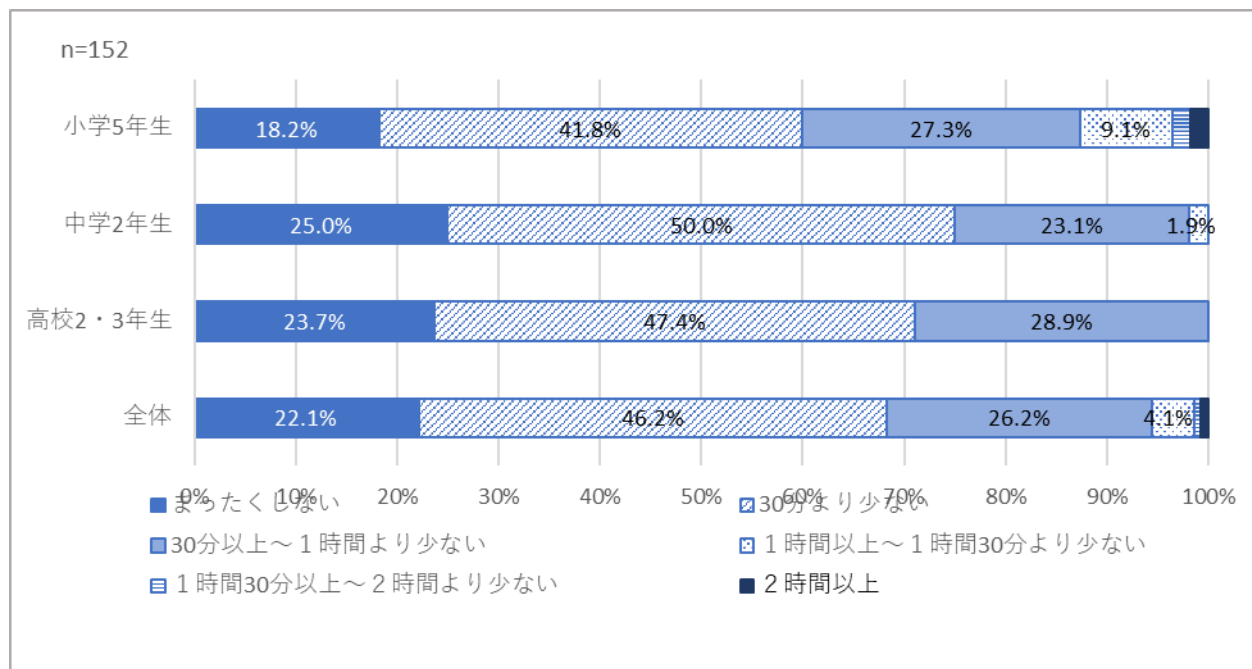
3. 生活状況

(1) 家事を手伝う時間

◆ あなたは1日、おうちの家事手伝い（食事の準備や片付け、洗濯やきょうだいの世話など）をどれくらいしますか。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

子どもが家事を手伝う時間は、「30分より少ない」が46.2%で最も多く、続いて「30分以上～1時間より少ない」が26.2%、「まったくしない」が22.1%となっている。



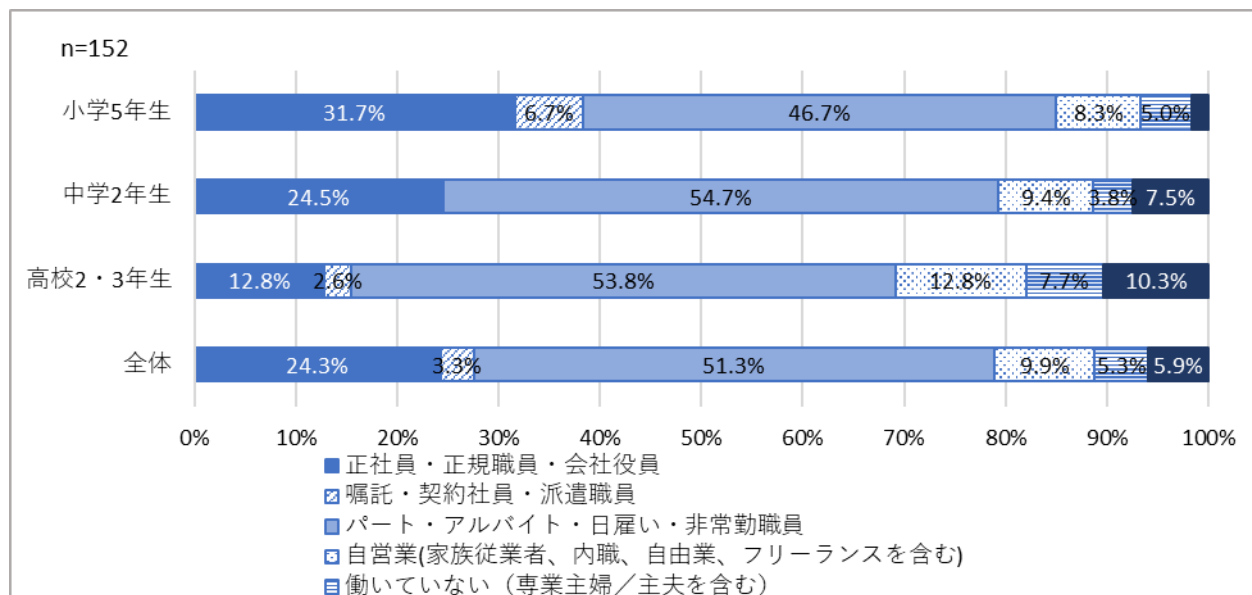
4. 保護者の就労状況

(1) 母親の働き方

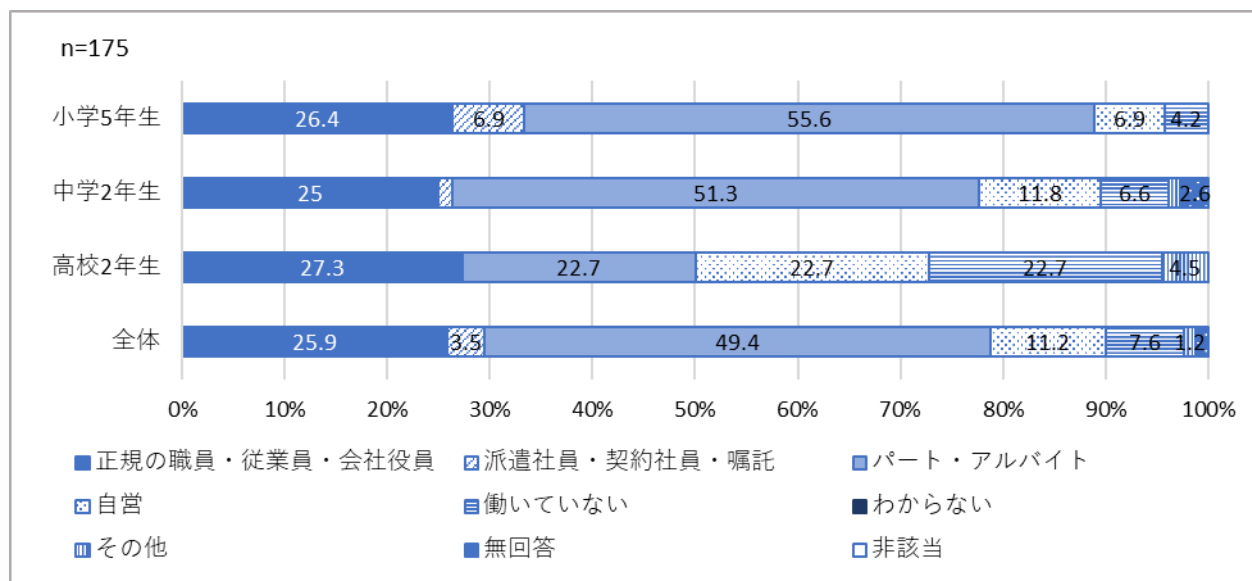
◆ お子さんの母親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

母親の働き方は、「パート・アルバイト」が51.3%で最も多く、続いて「正規の職員・従業員」が24.3%となっている。



【前回調査（H29）】

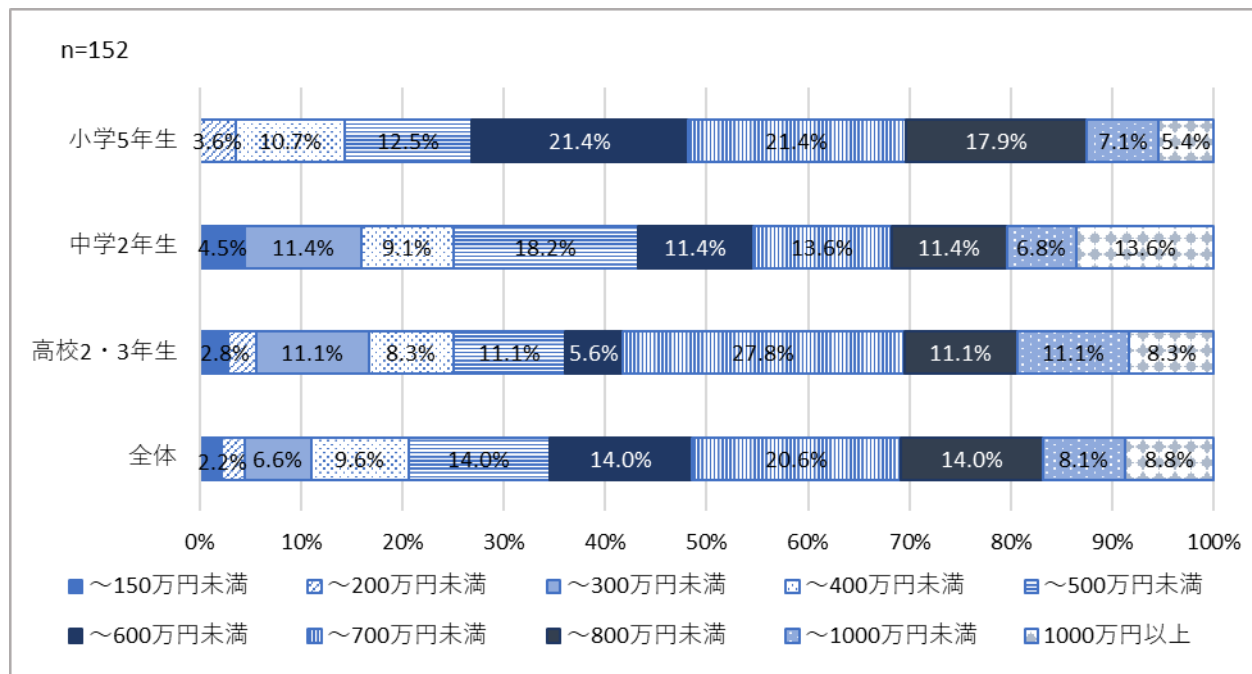


（２）家族の年収について

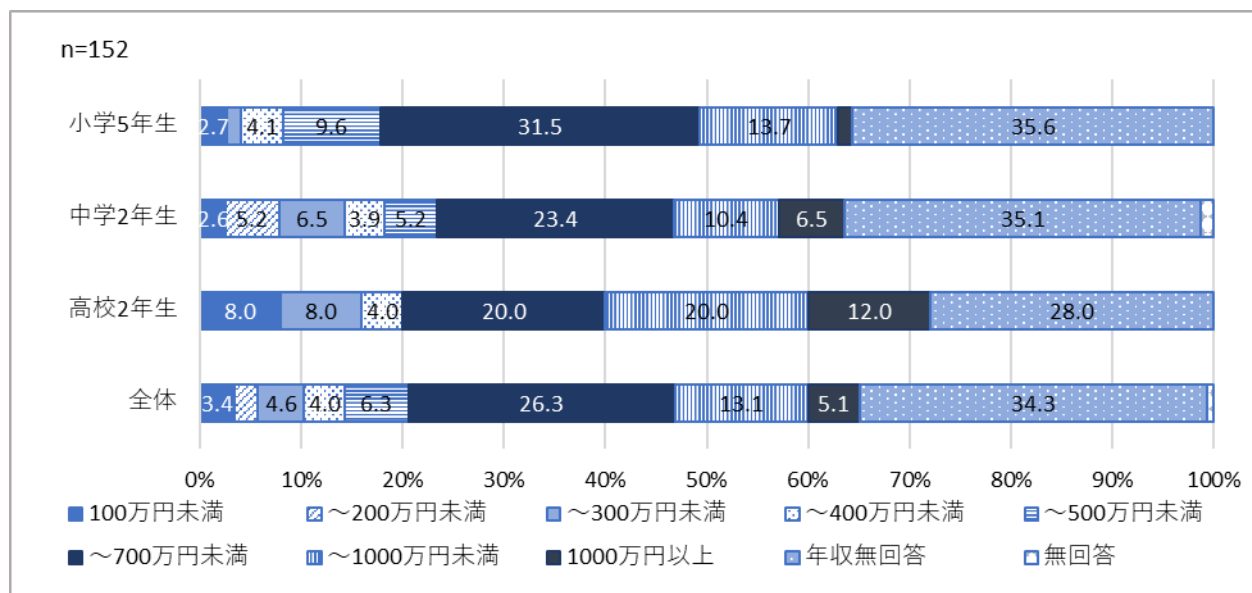
◆ 世帯全体のおおよその年間収入（税込）はいくらですか。

（小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者）

世帯全体の年間収入（税込）は、「～700万円未満」が20.6%で最も多く、続いて「～500万円未満」「～600万円未満」「～800万円未満」がそれぞれ14.0%となっている。



【前回調査（H29）】



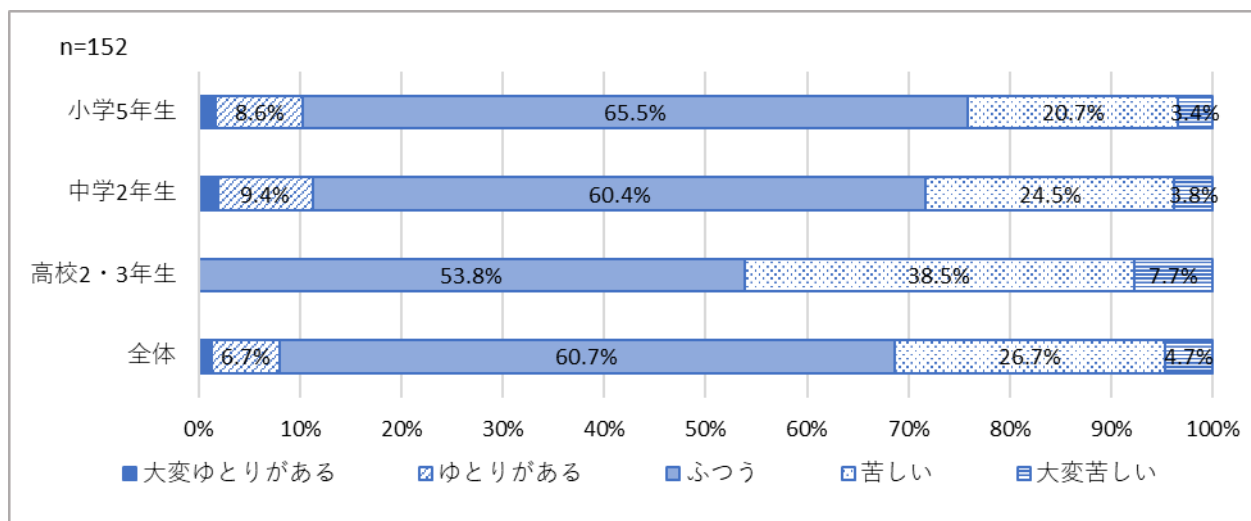
5. 経済状況

（1）暮らしの状況について

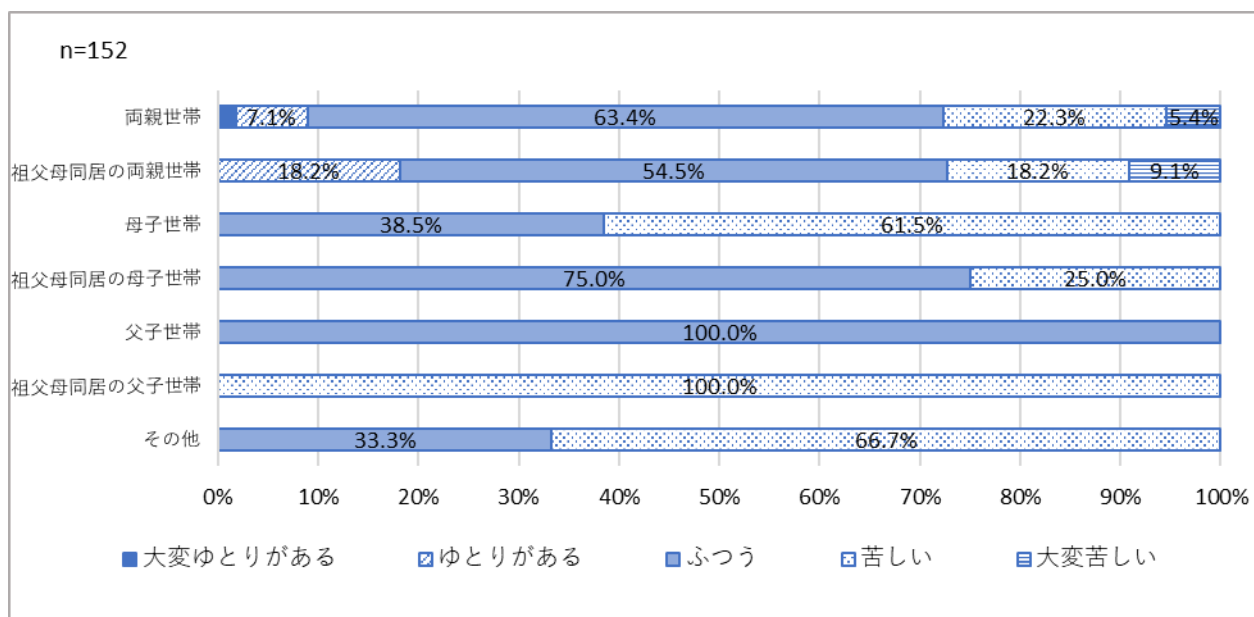
◆ あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

（小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者）

現在の暮らしの状況については、「ふつう」が60.7%で最も多く、続いて「苦しい」が26.7%となっている。



家族形態別では、母子世帯、祖父母同居の父子世帯のひとり親家庭で「苦しい」「大変苦しい」の比率が高い。



6. 現在の生活や気持ちについて

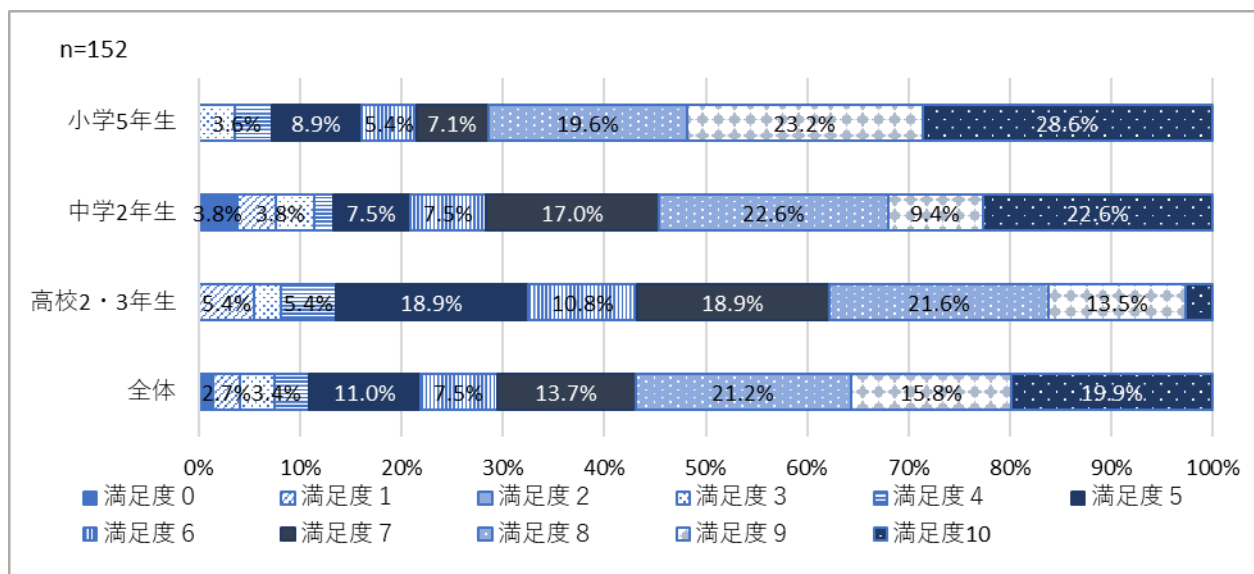
(1) 最近の生活の満足度

◆ 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

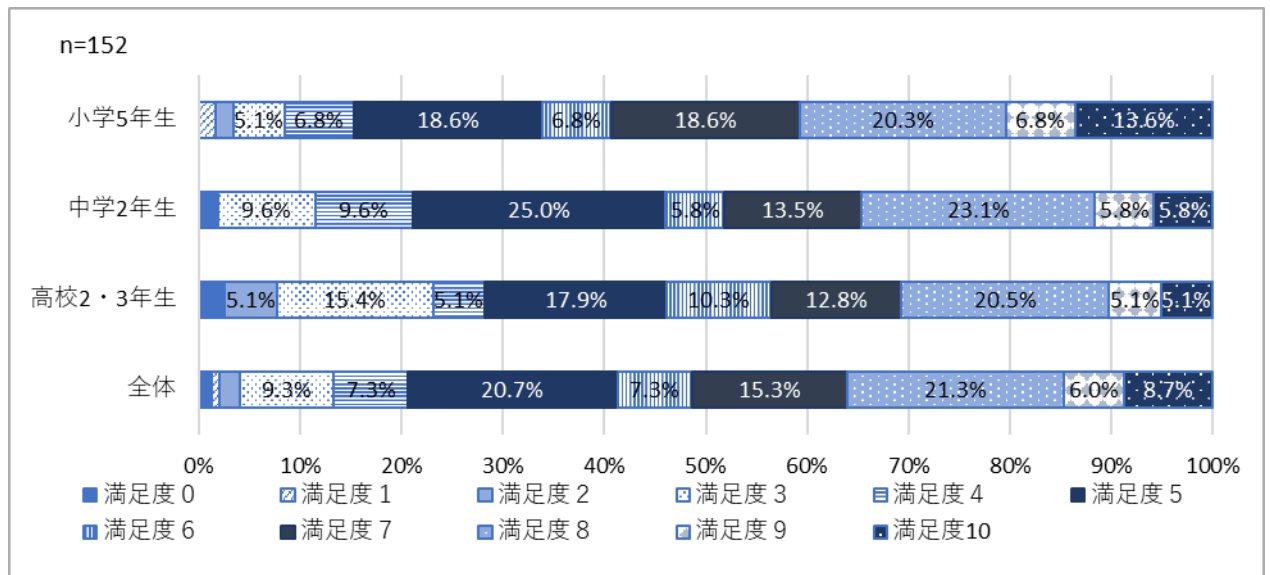
① 子どもの満足度

子どもが感じている生活の満足度は、「満足度8」が21.2%で最も多く、続いて「満足度10」が19.9%、「満足度9」が15.8%となっている。満足度8以上で、全体の56.8%となっている。

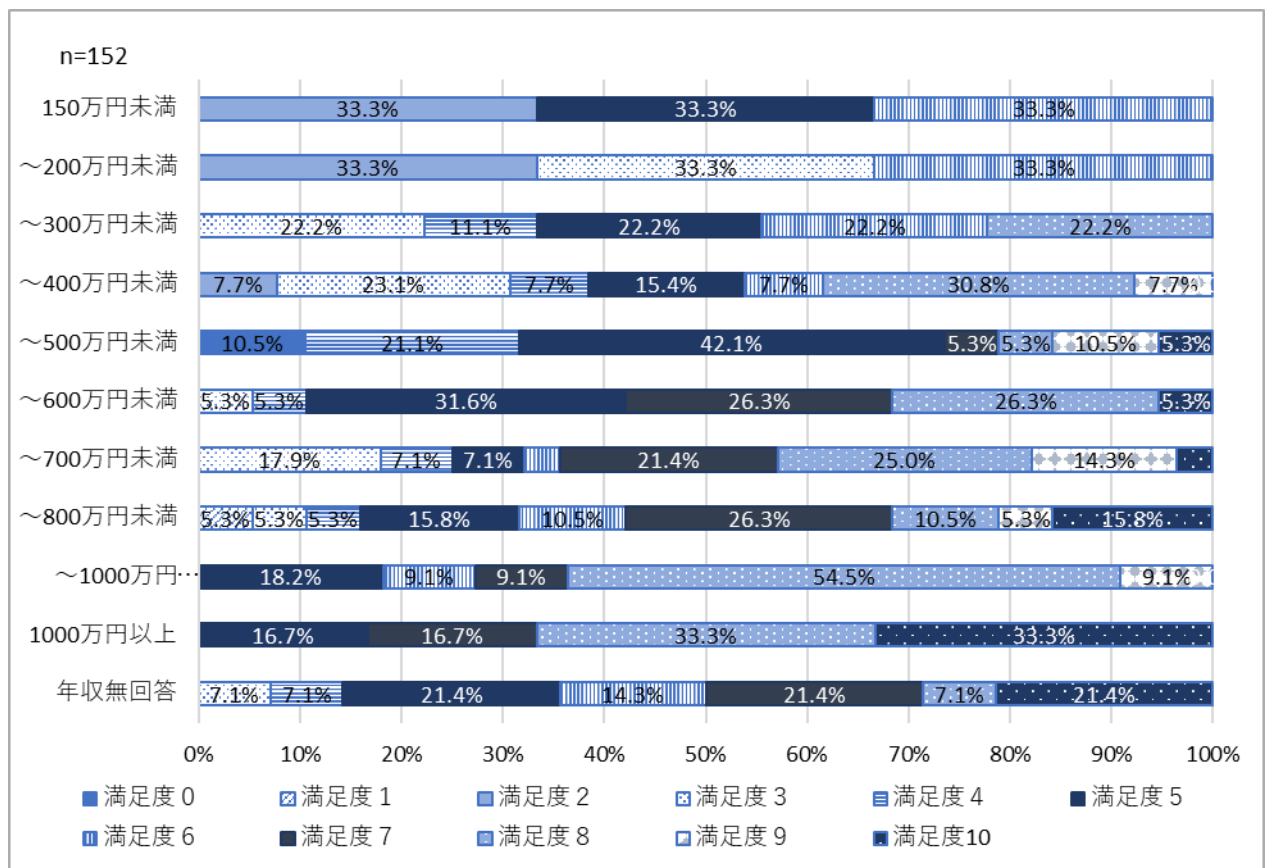


② 保護者の満足度

保護者が感じている生活の満足度は、「満足度8」が21.3%で最も多く、続いて「満足度5」が20.7%、「満足度7」が15.3%の順となっている。満足度8以上で、全体の36.0%となっている。



年収階層別にみると、年収が下がるのに伴い満足度が低い割合が増加傾向。



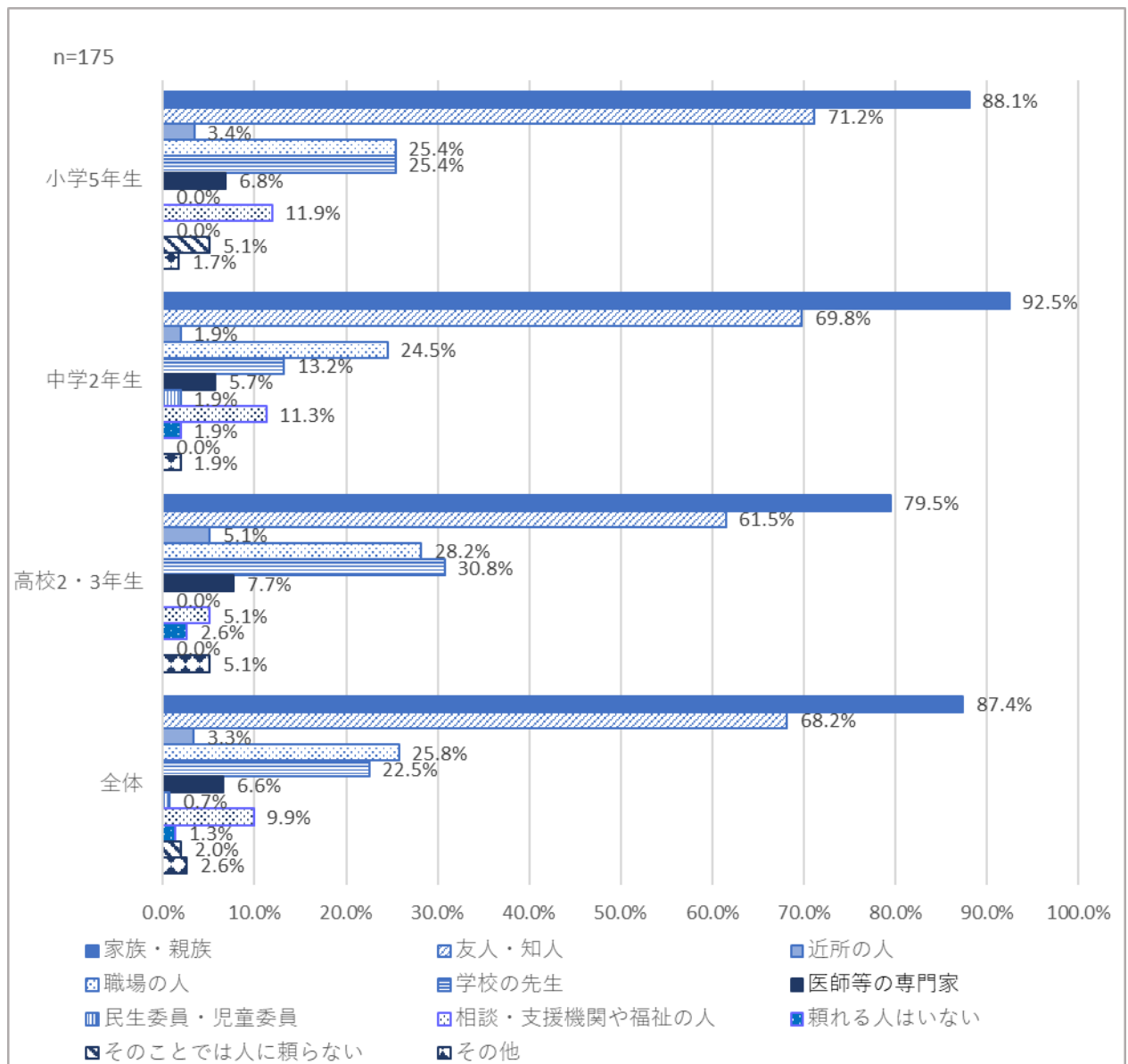
7. 相談の状況

(1) 子育てに関する相談で頼れる人

◆ 子育てに関する相談で頼れる人すべてに○をつけてください。【複数回答】

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

子育てに関する相談で頼れる人は、「家族・親族」が87.4%で最も多く、続いて「友人・知人」が68.2%、「職場の人」が25.8%、「学校の先生」が22.5%となっている。



(2) 子ども自身の困りごとや悩みごとなどを相談できると思う人

◆ あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。【複数回答】

(小5 中2 高2・3 小5保護者 中2保護者 高2・3保護者)

子ども自身が困っていることや悩みごとを相談できると思う相手は、「親」が75.4%で最も高く、続いて「学校の友達」が62.7%、「学校の先生」が42.3%の順に多くなっている。

